



◇ 「2年生 未来創造Ⅱ 先輩を囲む会」について報告します。

第2学年では、同窓の先輩から研究や職業、学生時代の思い出等、様々な話を伺い、自身の将来や生き方について考える機会として「未来創造Ⅱ 先輩を囲む会」を毎年実施しています。7つの講座の中から自分の興味・関心のある2つの講座を選び、現場で活躍していらっしゃる先輩方から、話を聞きました。

日 時： 1月16日(木) 6・7限(14:35～16:25)

講 師： 第一線で活躍する関高出身の社会人の先輩方(順不同)

- 1 後藤 貴久代氏 (COCO 動物病院、獣医師)
- 2 林 加奈氏 (NPO 法人 ふうめらん)
- 3 福田 恵介氏 (福田刃物株式会社)
- 4 石丸 莞那氏 (関西学院大学文学部、女子大生団体 Kawaii Girls Media)
- 5 各務 梓菜氏 (NHK 静岡 ニュースキャスター)
- 6 早川 典雄氏 (セイノー情報サービス株式会社、取締役)
- 7 大野 哲氏 (株式会社イズミテック、代表取締役社長)

◇ 各講師の講義内容と生徒の感想

1 後藤貴久代氏 (COCO 動物病院、獣医師)

■ 講義の内容

自己紹介を兼ねて高校生活から大学生活、その後競走馬を経て小動物に転向し、開院に至るまでをスライドで見せていただいた。プライベートの趣味なども教えていただいた後に、生徒からの質問全てに個別に丁寧に答えていただいた。

- ・ 飼い主からの聞き取りや飼い主自身の心のケアも必要なので心理学も大学で学ぶ。
- ・ 大学で幅広い分野を学ぶのは、卒業後の仕事の分野が幅広いから。
- ・ それぞれの大学に得意分野がある。自分が将来就きたい仕事から大学を選ぶとよい。野生動物なら北大、官公庁なら東大、小動物ならどこでもよい。
- ・ 大学の解剖学の試験では夜の12時までかかったこともある。文系の学部よりは忙しい。
- ・ 約4万人居る獣医師の内小動物は約40%、女性獣医師の比率も同じく約40%。
- ・ 入院患者が居ると休みのない仕事、また、日進月歩の新しい知識・手術法を学ぶために開院後もセミナーで学び続けている。
- ・ 人間を診る医師と違って、獣医師は眼科・皮膚科・内科・外科・整形などすべてを一人でできなければいけない。
- ・ 動物は顔や身体(尾など)の表情から気持ちが分かる。
- ・ 魚類は養鯉業者からの依頼で鯉の治療をしたことがある。
- ・ 治療が難しいのはハリネズミ。針を立てて丸まってしまう。信頼関係ができると丸まらなくなるので治療ができる。



■ 生徒の感想

自分が思っていたよりも獣医師免許を持っている者の進路は幅広いということがわかった。また、獣医学は未知な部分も多く、毎年異なった新しい情報が入ってくるので、日々勉強したり研究会を開いたりして学び続けなければならないことに驚いた。命を預かる仕事として、獣医師が責任と動物への愛情を持って接していることが分かり、すばらしい職業だと思った。

■ 講師の先生から、関高生の印象

皆さんおとなしいです。

■ 講師の先生から、生徒に向けて一言

一方的に話してしまって、もう少し意見交換をするべきだったかと反省しています。質問を通して若いパワーを感じられました。

皆さんも明るい未来を楽しんでくださいね。

2 林 加奈氏（NPO 法人 ぶうめらん）

■ 講義の内容

手書きのイラストが随所に描かれた、可愛らしいレジュメを持参してくださいました。まずはそれを片手に自己紹介。関高OGにして関市民だからこそ語れるローカルな話題に生徒たちも親近感を覚えたようです。林さんが大切にしている「はなす」「きく」「かく」ことの大切さを、イラストを通してわかりやすく講義してくださいました。

■ 生徒の感想

話の可視化と話し合いの中での役割の大切さが分かりました。話すことは苦手だけど、役割をもって話し合いに参加することを大切にしたいと思いました。人はみんな考え方が違うので、自分の意見を押しつけないようにしたいです。

■ 講師の先生から、関高生の印象

こういう機会に嫌な顔一つせず聞いてくれたことが有り難かったです。やっぱり可愛いですね。

■ 講師の先生から、生徒に向けて一言

今日は50分×2回有り難うございました。こんな機会でもた母校と関わらせてもらえたことに感謝です。1日1日、体力も集中力もあるこの時期を大切にしてください。何かあれば「ぶうめらん」までどうぞ。今日は素敵な機会を有り難うございました。



3 福田恵介氏（福田刃物株式会社）

■ 講義の内容

・ビデオ視聴：数年前、NHK テレビ番組「超絶 凄ワザ！」の「～前人未踏の切れ味を目指せ～」の回にチームリーダーとして、社員で構成のチームを率い出演。反響が大きく、その後、多数のテレビ番組に出演。トヨタ、ヤマハ、マキタなど一流企業からの注文も舞い込み始め、会社業績は右肩上がり、従業員数も2倍近くとなった。

・学生時代、無気力な生活をしてきたが、社会人になると同時に「正面突破」の生き方を心がけるようになった。その結果、現在では、ストレスがなく、仕事が楽しく、最高に楽しい人生を歩んでいる。語

られている姿から、本当に楽しい人生を送られているのが伝わってきた。

・高校に入学した頃から、大学生にかけて無気力状態に陥り、勉強はしない、部活には熱心に参加しないなど、色々なことに後ろ向きであり、その結果、希望の大学には合格できず、浪人することとなった。

・そして就職し社会人となったとき、このままではヤバイと気づき、社会人になってだんだんかわってきた。何があっても逃げない、人が嫌がることにもとりあえず積極的に全力で取り組む。小さなことを積み重ねることで、出来るはずないことが、出来るようになってくる。そして、知らないうちに本物の実力がつく、運も舞い込む。失敗していいから、やり続けることが大切。まさに、「正面突破」の生き方。

・先生の話聞いた多くの生徒たちは、失敗を恐れない「正面突破」の生き方に共感していた。

■ 生徒の感想

・自分は今とても行きたい大学があります。今そのために、勉強を頑張っていますが、今日の話聞いて、「別に失敗しても、そこで積み上げた努力、経験は必ず次のステージに生きてくる」という言葉が印象的でした。もしかしたら、受からないかもしれないという気持ちが心のどこかにあったので、失敗しても“正面突破”でがんばっていきたいと思えました。ありがとうございました。

・私はビビりだし、とてもネガティブなので、福田さんのように正面突破していくのが怖いと思っていました。けれど、正面突破していくなかで運もつくし、ポジティブになれることを聞いて少し頑張ってみようと思いました。



■ 講師の先生から、関高生の印象

すごく真剣に話を聞いてくれたり、笑ってくれたり、とても話しやすかったです。

■ 講師の先生から、生徒に向けて一言

“正面突破”と続けていけば、必ず前向きな思考と確かな実力が得られます。将来、楽しくて仕方ない人生がみんなに訪れていることを願っています。

4 石丸莞那氏（関西学院大学文学部、女子大生団体 Kawaii Girls Media）



■ 講義の内容

在学中はよく追試にかかって、成績不振だった自分が、2年生の頃に「夢がないならいい大学に行こう」と思い立ち、真剣に勉強を始めた。そこから成績が伸びだして、関西学院大学の文学部文化歴史学科に進学。ところが、大学進学をゴールだと思っていたので入学後目標を見失い路頭に迷う。そこから、夢がないなら今を楽しもう、経験を積もうと、様々なことに挑戦する日々がスタート。サークルをやめ、学生団体に入ったことで大学生活が一変。被写体のお仕事も、Webライターとしてのお仕事も、学生団

体のメディア編集長としての立場も、すべて自分が「ワクワクすること」をするために、人とのつながり

を大切に努力し続けた結果ついてきたもの。「夢」に向かって走るのもいいけれど、「夢」がないなら今の自分がワクワクすることすればいい。ただ何となく生活をするのではなく、自分に与えられた時間を精一杯、最大限に活用すれば、必ず結果はついてくる。未来は与えられるものではなく、切り開くもの。

■ 生徒の感想

「経験を積む」という大人がやっていそうな事、難しそうなことを身近に感じた。情報発信や獲得のコツから、人脈の作り方など、将来へのステップアップの場での充実した生活の仕方を教えてもらった。とても心に響いた。自分と同じ悩みや考え方が多く、自分だけではないと安心できたし、それからの進み方をわかりやすく詳しく教えてもらったので、強い気持ちで進路を選びたい。

■ 講師の先生から、関高生の印象

自分たちの代と比べてみてしまい、めっちゃいい子たち！！という印象でした。夢をもっていたり、やりたいことを持っている子たちで、楽しみだと思いました。

■ 講師の先生から、生徒に向けて一言

迷ったら、ワクワクする方へ！

これを大切に満足のいく人生を送ってください。選択肢は無限にあります！

5 各務梓菜氏（NHK 静岡 ニュースキャスター）

■ 講義の内容

自分の声で言葉で情報を伝えたい、その手段はいろいろあったが、一番自分に合っていると思えたのがアナウンサーでした。メディアから情報をもらうのではなく、直接取材をして話が聞けるところに魅力を感じます。

この仕事に携わっていく上で自分の役目は何か、テレビの役目は何か、悩んだこともありました。

テレビは広報じゃなく批判しているだけでもダメで、テレビでの中での何気なく話したことが視聴者の心に響いたり、ふと見た時に過去の出来事の答えが見つかったり、こうすれば良かったんだ、こうしていけば良いんだと視聴者の方々が気づいてくれるところに、やりがいを持って仕事をしていきたいと思っています。

生徒の皆さんには、自分の幸せって何か。自分がどうしたらいいか。自分で考えて色々な人に相談し発信して道を開いて行ってほしいと思います。

■ 生徒の感想

まず、原稿なしでデータから自分の言葉で話すことに驚きました。自分にできることをみつけて、それに向かってまっすぐ進むことはとても大変だと思うけど、それをやりとげている各務さんはすごく恰好良く見えました。「自分が普段どのようなことを考えていて、どう言葉に表せるかが大事」という言葉がとても印象的だった。私も将来について考えたいです。

■ 講師の先生から、関高生の印象

一生懸命聞いてくれました。質問も沢山してくれて嬉しかったです。2年前に将来の夢が決まっているか聞いた時はほとんど決まってない人が多かったように思いますが今年の2年生は半分ぐらい決まっています。驚きました。



■ 講師の先生から、生徒に向けて一言

急な問いかけにも沢山反応して下さいありがとうございました！少しでもお話できたことが楽しかったです。みなさん身体には気を付けて！これからも応援しています。

6 早川典雄氏（セイノー情報サービス株式会社、取締役）

■ 講義の内容

・職業の専門である、コンピューターシステムを用いた物流の効率化や物流の自動化、関高校の思い出や伝説、人生と社会貢献について、これから大切にしていってほしいことについてなどを、今に至るまでの経験や動画、データを踏まえながら話していただきました。

・「物流の自動化」では、今後経費削減や労働人口の減少のために様々な仕事が自動化されて機械に置き換わる。(荷運びだけでなく、excel の入力やメールの返信を一部機械で自動化している)それを使いこなす人材やそのシステムを作っていくようなクリエイティブな人になってほしい。

・「人生と社会貢献」では、これから社会に関わり、問題・課題を発見し、考えて解決することの連続である。そのためのバックグラウンドとして、学んで学んで学びを蓄積する、やるべきことをやるのが今後の社会貢献において大切である。また、やりたいことが見つからないときは、視野を広げて好奇心を持ち、色々試してみることが大切。失敗もまた新たな視野の獲得につながる。

・「大切にしてほしいこと」好きなことを好きなだけ学べるのは幸せ者。それができるのは現在。現在はすぐに過去になる。今やるべきことを全力でやってほしい。また、幅広い専門性を持ち、相反する2つの専門性をもつII字型の深みと強さのある人間を目指し、今やりたいことに流されず今やるべきことを求めて努力して欲しい。

■ 生徒の感想

現在はすぐに過去という言葉が印象に残った。自分の行動1つ1つはすぐに過去になってそれは変えられないから、後悔しないように今をしっかりと過ごしていきたい。これからのリーダーにはII字型の人間が、求められるということでAIなども発展していき仕事が置き換わる中で生き抜くためにたくさんの技術が必要で今後つけていく必要があることが分かった。

■ 講師の先生から、関高生の印象

- ・まじめな印象です
- ・講義内容にメモを取る生徒も多くいました

■ 講師の先生から、生徒に向けて一言

人生と社会貢献の話をさせて頂きました。バックグラウンドでの学習(input)を深め、今から35才くらいまでの体験を深めてもらうことを強調しました。ぜひ取り組んでいてもらいたいと思います。



7 大野 哲氏（株式会社イズミテック、代表取締役社長）

■ 講義の内容

株式会社イズミテックという「環境測定」をしている会社の社長として、環境測定についてや社長としての仕事について話していただきました。また、長年の経験を踏まえ「なぜ仕事をするのか」「人生とはなにか」ということについても哲学を含めながら話していただきました。

また、本校でも研究しているSDGsについても、イズミテックが行っているSDGsへの取り組みを聞くことができました。イズミテックでは災害時でも水道水レベルの水質の水を普及できるように災害浄水器を販売しています。実際にSDGsに取り組んでいる会社の話を聞くことができ、生徒も多くの刺激を受けていました。



■ 生徒の感想

「仕事をする」ということをただ義務として考えるのではなく、どのように働けばよいか、何のために働くのかなどすごく考えることができた。私も働くということはどういうことなのかを考えて仕事と人生を楽しく満ち足りたものになるようにしたい。SDGsについても本当に社会に広がっていることを知ることができた。（私たちも活動で取り組んでいるが、実感がなかった）

大野さんのように様々な人のことを考えて仕事をし、社会貢献できるようにしたい。

■ 講師の先生から、関高生の印象

真面目でおとなしい

■ 講師の先生から、生徒に向けて一言

将来、未来は今を一生懸命生きることが大切です。頑張ってください。